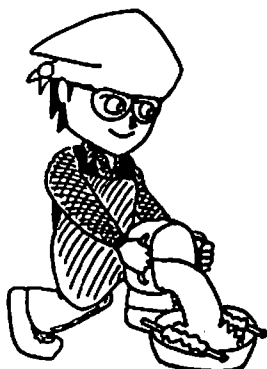
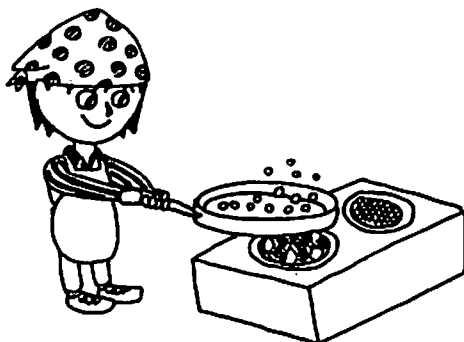


# どうする？エダマメ栽培のゴール

札幌市立北九条小学校 三好哲司

エダマメ（ダイズ）の栽培があちこちで実践されていますが、「エダマメパーティー」で食べて終わり…というパターン化した発想が根強いのではないのでしょうか。しかし、ダイズは豆腐、きなこ、もやしに変身して私たちの食生活を豊かにしてくれます。子どもたちにとっては未体験の活動でしょうから、期待感が高まり、なにより自然の恵みを一層深く実感することになります。



つくり方を調べる、材料が足りない場合は新たに買いに行く、型にする箱をつくる、火を扱うなど幾つかの難関もありますが、期待感があるだけに、子ども自ら「これを調べなければ…」「これを準備しなければ…」「…はできるかな」などの問題を見付けていくことができるのです。ゆとりをもって、自ら問題を解決し、ゴールに自ら近づく姿を見守り、支えてあげたいものです。